



目指そう! 環境にやさしい やちわっ子

1 はじめに

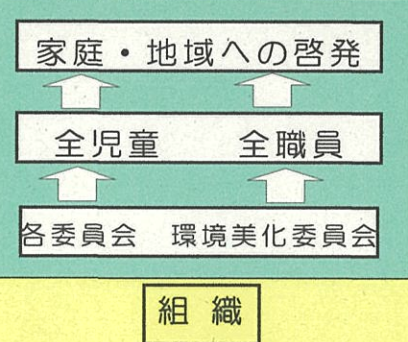
本校は、児童数794名の大規模校である。八代の北部に位置し、校区全体は平地で、以前は田畑の多い農村地帯であったが、最近では、住宅が増えて市街地という様相である。

八千把はその昔、「八千把野」と称し、その豊かな広土に、太陽の光と熱の恵みを受けて作物は瑞々しく生い茂り、たわわに実る稲穂は数知れず、人の心は穏やかに土に親しんでいたという。



環境 ISO の取り組みは、環境美化委員会を中心に、全児童・全職員の環境への意識を高めることを目指している。

また、家庭や地域への啓発活動を行い、日常生活での実践につなげていきたいと考えている。



2 宣言

八千把小学校環境ISO

- 「や」…やってみよう 身の回りのエコから。
- 「ち」…ちゃんと名前を書きます。電気を消します。
ぞうきん洗いは、バケツを使います。
- 「わ」…分けてゴミを減らします。残食ゼロを目指します。



学級エコ宣言

環境美化委員会で、昨年度の環境に対する本校の実態を振り返り宣言項目を決定した。全校集会で、クイズを交え「環境 ISO 宣言」を行うことで、児童の関心を高めることにつながった。

3 行動



3年 トマト農家見学



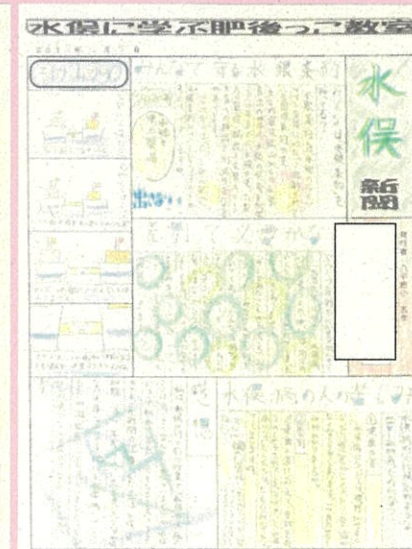
4年 ごみ分別体験

学ぶ



5年 米作り・芋作り体験, 収穫祭

5年「水俣に学ぶ肥後っ子教室」



3年生は、トマト農家を見学し、農家の方の思いや願いを知ることができた。

4年生は、「次世代のためにがんばろう会」や市役所環境課の方々による講話を聞いたりごみ分別体験を行ったりした。燃やすごみの量を削減するために自分たちにできることを考え学びを深めた。

5年生は、JAの方々や地域の農家の方々の協力で米作りや芋作り体験をした。また、お世話になった方々を招き「収穫祭」を行った。

総合的な学習の時間において、「水俣の公害や原因」「その後の経過」「取組」などを知った。「水俣に学ぶ肥後っ子教室」では、水俣に行くことで学びを深めることができた。学習のまとめとして、学んだことや感じたことなどを新聞にまとめた。



クリーン

学期に1回、全学年が愛校作業を行っている。また、夏休みには、親子での愛校作業も行っている。

食缶空っぽ大作戦

「食缶空っぽ大作戦」を、学期に1回行っている。食缶を空っぽにする取り組みを行うことで、残食を減らす意識を高めている。

エコスターを集めよう



一人で

学級で

家庭で

職員室



環境を整える

職員室のごみ箱は、プラごみと燃えるゴミに分ける。「裏紙が使える紙」「裏紙が使えない紙」「空き箱類」等、置き場所が誰にでも分かるようにする。提案する際にも、視覚的に分かりやすいようにしている。



各教室には、リサイクルボックスを置いてプリント類の紙を集めている。

児童振り返り

・今回改めて、小さなことから積み重ねがとても大切だと思いました。
・まだ少ないと思うので、常にめあてを決めて環境にやさしいことを増やしたいです。

保護者より

・家族みんなで気を付けて意識するようになり、誰かが忘れていたら声をかけたり率先してやったりすることができました。これからも引き続きやっていこうと話しました。

環境にやさしいことをすると貯まっていく「エコスター」。自分の持ち物に記名があるか確認したり、学級エコ宣言に取り組んでいるか確認したりしてエコスターを集めている。家族と「我が家のエコ宣言」を行い、家庭でのエコスター集めも行った。

発信

掲示物を工夫することで、全校児童の環境への関心を高めるようにした。環境美化委員会が描いたポスターや5年生が書いた新聞を、全校児童の目につく廊下に掲示した。ポスターは、校区の公民館や歯医者、各町内にも掲示を依頼し地域への発信とした。



4 記録

回収した燃えるゴミ袋の数

	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	計
平成29年度	18	15	20	29	26	45	34	187
平成30年度	24	18	16	10	32	22	34	156

給食残食量

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	合計 (kg)	1日1人平均 (g)
平成29年度	34.3	75.6	98.5	43.8	55.8	51.1	39.7	37.7	436.5	3.7
平成30年度	65.4	114.0	125.5	76.2	75.8	63.8	43.1	41.7	605.5	5.0

※平成29年度と比較するために8月は表記していない。

意識調査でエコ活動を「している」(今後実践したい)と答えた児童の割合(%)

	持ち物	節電	節水	ごみ	家庭実践	今後の実践
6月	81.8	52.8	88.1	90.3	85.4	96.3
12月	87.2	69.4	97.8	96.1	93.9	98.6

今年度12月末で、回収した燃えるゴミ袋は、昨年度に比べ減少した。給食残食量については、一人平均1.3g増加した。今年度も昨年度も1学期の残食量が多い。1学期に意識を高める手立てが必要である。

5 見直し

- ・今年度は、児童・職員の意識向上を目標に取り組みを行ってきた。様々な活動を通して、委員会の児童の意識が高まり主体的に活動する姿が見られるようになった。
- ・6月と12月の意識調査の結果、児童の環境への関心が高まりつつあることが分かった。各学級でのエコ宣言や家庭でのエコ宣言や「エコスター集め」などが効果的であったといえる。
- ・「食缶空っぽ大作戦」では、1学期2クラスであったのが2学期は10クラスに増えた。しかし、全体的な残食量を見ると、まだ課題が大きい。
- ・意識調査からも節電に対する意識が低いことが分かる。
- ・今後も、実践へとつながる取り組みを環境美化委員会を中心に取り組んでいきたい。